

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2018年			
7月 14日(土)～15日(日)	WET2018 (Water and Environment Technology Conference 2018)	愛媛	本号
27日(金)～28日(土)	京都大学工学部衛生工学科創立60周年記念： 第40回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム	京都	本号
8月 3日(金)	第27回市民セミナー	東京・大阪	本号
19日(日)～21日(火)	第22回日本水環境学会ノンポイント汚染研究委員会 「ワークショップ in 岐阜・木曽川」	岐阜	本号
24日(金)	第1回はじめての技術セミナー～はじめての次世代シーケ ンサーを使った活性汚泥の菌叢解析～(1日目)	東京	本号
30日(木)～31日(金)	瀬戸内海研究フォーラム in 兵庫 「測る, 創る, 学ぶ, 瀬戸内海の今」	神戸	本号
31日(金)	微生物燃料電池セミナー 2018 ～基礎からわかる微生物燃料電池～	岐阜	本号
9月 1日(土)	第53回水環境フォーラム山口	山口	本号
4日(火)～5日(水)	第21回日本水環境学会シンポジウム	島根	本号
10日(月)～11日(火)	第13回人工湿地ワークショップ 2018 in 郡山 (西会津・湖南) ～人工湿地の生活排水処理への適用に向けて～	郡山	本号
16日(日)～21日(金)	IWA World Water Congress & Exhibition 2018	東京	本号
26日(水)	第1回はじめての技術セミナー～はじめての次世代シーケ ンサーを使った活性汚泥の菌叢解析～(2日目)	つくば	本号
10月 15日(月)～19日(金)	第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦 2018)	茨城	41巻3号
30日(火) ～11月1日(木)	第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	福島	本号
11月 8日(木)～9日(金)	第32回日本吸着学会研究発表会	大阪	本号
2019年			
3月 7日(木)～9日(土)	第53回日本水環境学会年会	山梨	

会員登録データ変更の届け出について (お願い)

住所, 所属変更等, 本会に登録されているデータに変更のあった場合には, ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方, 登録アドレスを忘れた方は, メール (member@jswe.or.jp) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎 (4月→3月) の扱いで, 原則として中途退会はできませんのでご注意ください。

また平成25年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は, 満65歳以上で, 水環境関連分野に従事, または関心を有し, 本会に対し功労のあった個人を対象とするもので, 学会コミュニティにおいて, 継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会 WEB サイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

平成 30 年度学生会員の募集について

本会では、ただ今平成 30 年度学生会員を募集しております。入会ご希望の方は下記によりお申し込みください。

申込方法 本会ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) からお申し込みください。

学生会員制度の概要

(1) 会員資格

大学生、大学院生、研究生等で、セミナー・講演会・年会・シンポジウムへの参加を目的とするもの。会員の有効期間は平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで。なお、**本年 3 月の時点で学生会員であった方でも、3 月 31 日で会員資格が失効しています。継続希望の方は、再度、入会申し込みが必要です。学生会員の会員番号の最初の 2 桁は会員資格の年度（西暦 2 ケタ）を示します。**

(2) 会費および支払い方法

年間 5,200 円。支払いはお申し込みと同時に行ってください（入金確認後、入会の承認手続きを経た後に正式な会員番号をお知らせします）。

(3) 機関誌

平成 28 年度から、学生会員への学会誌の無償配布はなくなり、希望者に頒布することとなりました。学会誌をご希望の学生会員は、入会時に学会事務局 (member@jswe.or.jp) に希望送付先を連絡の上、学生会員用の学会誌代 3,600 円をご入金ください。ご入金が確認された月以降の学会誌が送付されます（バックナンバーの送付はありません）。**入会時以降の頒布希望の変更は受け付けられません。**入会申込・入金時期によっては、会誌が在庫切れとなることもありますのでご了承ください。

本会関連行事

Water and Environment Technology Conference (WET2018)

日本水環境学会主催の国際会議 “Water and Environment Technology Conference” を開催致します。会議での発表に合わせて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

主 催 日本水環境学会

期 日 2018 年 7 月 14 日（土）～15 日（日）

場 所 愛媛大学（愛媛県松山市）

交 通 市内電車環状線「赤十字病院前」から徒歩 5 分

内 容 口頭発表とポスター発表のハイブリッド発表
表 彰

Excellent Poster Award を WET2018 の発表者すべてから、Excellent Paper Award を JWET へ論文投稿した発表者から選出し表彰します。

参加登録 事前予約は終了しました。

参加費

一般

	Participant	Speaker
Early-bird	5,000 JPY	5,000 JPY
On site	7,000 JPY	5,000 JPY

学生

	Participant	Speaker
Early-bird	3,000 JPY	3,000 JPY
On site	4,000 JPY	3,000 JPY

問い合わせ先

WET 事務局

Email: wet@jswe.or.jp Fax: 03-3632-5352

第 21 回日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第 21 回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領で開催いたします。各研究委員会のセッション、本部企画、本部企画（全国環境研協議会共催）、特別講演会のほか、大学院博士後期課程レベルの研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッション、年間優秀論文賞（メタウォーター賞）の受賞者講演など、多彩な企画も用意されています。非会員の方も参加できますので、大勢の方のご参加を期待しております。

1. 概 要

期 日 2018 年 9 月 4 日（火）～5 日（水）

会 場 島根大学松江キャンパス

（〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060）

（<https://www.shimane-u.ac.jp/access/>）

交 通 JR 松江駅からバスで約 20 分、タクシーで約 10 分

2. 内 容

特別講演会「中海・宍道湖の現状と課題」

参加申し込み、および参加費は不要

9月5日(水) 午前(10:00~12:10 予定))

宍道湖・中海の水質の推移と水質に影響を与える因子の解明 神谷 宏 氏(島根県保健環境科学研究所)
宍道湖で起こった突発的な水草繁茂の現状と課題
國井秀伸 氏(島根大学名誉教授)

若手研究紹介(オルガノ) セッション(発表審査)

4日(火) 午前

年間優秀論文賞(メタウォーター賞) 受賞者講演

4日(火) 17:10~17:50

研究委員会、本部企画セッション

4日(火) 午前(9:00~12:30)

将来の水環境の変化と水供給の課題
(将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会)
環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術
(本部企画)

沿岸や水辺の環境保全研究の最前線、

宍道湖・中海のいま (湿地・沿岸域研究委員会)
身近な自然を見る・観る・診る~その実践と課題~
(身近な生活環境研究委員会)

環境エンジニアリングにおける電気化学的技術
(電気化学的技術研究委員会)

4日(火) 午後(13:30~17:00)

水・資源回収と水処理
(産業排水の処理・回収技術 研究委員会)
MS技術を使った環境微量化学物質の追求
(MS技術研究委員会)

農産業に関わる水・バイオマス利用のシステムを考える
(農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会)
熱帯亜熱帯地域における地域の暮らしと沿岸域を含めた陸水環境の現状・課題

(熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会)

ツールボックスアプローチによる衛生学的水質評価
(水中の健康関連微生物研究委員会)

嫌気性微生物を利用したプロセス研究の最新の動向
(嫌気性微生物処理研究委員会)

データは何を語るか? : フィールド/プロセスデータからの機構解明と予測

(微生物生態と水環境工学 研究委員会)

ノンポイント汚染研究成果の社会還元への展望
(ノンポイント汚染研究委員会)

5日(水) 午前(9:00~12:30)

湖沼・河川をフィールドにした環境教育の実際と課題
(水環境教育研究委員会 (WEE21))

5日(水) 午後(13:30~17:00)

流域規模での化学物質管理: 測定手法と影響評価 (2)
(水環境と洗剤研究委員会)

日本の汽水域 その現状と課題 (汽水域研究委員会)
今、地域の水環境行政を創造する

(本部企画: 全国環境研協議会共催)

水環境をシステムとして評価する解析手法-アンケート調査を中心に- (システム解析委員会)

地表水が先か、LED-UV が先か~UV 技術の「明るい」未来~ (紫外線を利用した水処理技術研究委員会)
毒性削減評価 (TRE) と毒性同定評価 (TIE)

(バイオアッセイによる安全性評価研究委員会)
有用生物等の浄化機能評価を踏まえた環境保全再生対策技法のアジア展開新戦略 (生物膜法研究委員会)
膜処理が生み出す、「新しい価値」

(膜を用いた水処理技術研究委員会)

懇親会 9月4日(火) 18:00~20:00

ニコラ (島根大学学生食堂)

3. 参加申し込み案内

会場準備の都合上、なるべく予約申し込みをしてください。すでに研究発表を申し込まれた方も、改めて参加申し込みが必要です。なお、学生会員とは、学会に本年度の学生会員として登録を済ませた方の意味です。

(1) シンポジウム参加費および懇親会参加費

シンポジウム参加費	予約申込	当日申込
本 会 会 員	5,000 円	6,000 円
学 生 会 員	3,000 円	4,000 円
非 会 員	18,000 円	19,000 円
学生非会員	8,000 円	9,000 円
懇親会費*	3,500 円	4,000 円

* : 参加者に同伴して懇親会に参加する
家族(小学生以下)は無料

(2) 予約申込方法

下記要領により、インターネットを利用して申し込み、期日までに参加費を振込んでください。

6月下旬より下記ホームページから予約申し込みが可能です。<http://www.jswe.or.jp/event/symposium/>

(3) 予約申込期限

申し込みのメ切りは、8月20日(月)24:00です。それ以降は当日申込扱いとなります。

(4) 予約申込時の参加費振込

参加費を8月24日(金)までに指定口座に振り込んでください。振込人名義に申込番号も記載してください。名義が異なる場合や申込番号が記載できない場合は別途ご連絡をお願いします。8月27日(月)までにご入金が確認できない場合は、予約申込みがキャンセルされますのでご注意ください。なお、お振込後、入金が確認できるまで銀行振込で1~3日、郵便振替(ゆうちょ銀行への振込を含む)で2~8日かかることがありますので、余裕をもってご送金ください。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店
普通預金 口座番号：4948527
名義：シャ) ニホンミズカンキョウガ
ツカイネンカイグチ

郵便振替※：00180-5-564127
加入者名：(公社) 日本水環境学会
※通信欄に申込番号を記載してください。

(5) 参加証／講演集引換券の送付

ご入金を確認後メールにてお知らせします。また、そのメールが参加証／講演集引換券となりますので、それを印刷してご持参ください。なお、複数名で一括申込みされた場合は、お手数ですが参加者は各自で印刷したものを各持参願います。

4. ホテルと交通手段について

宿泊施設の案内・斡旋等行いませんので、各自で手配願います。

5. 託児施設

会場から徒歩5分の松江市シルバー人材センターが乳幼児の一時預かり(有料)を行っています。ご希望の方は直接ご連絡ください。

問合せ・申し込み先

公益社団法人 松江市シルバー人材センター

〒690-0823 島根県松江市西川津町 825-2

Tel：0852-27-0888 Tel：0852-27-2737

URL：https://www.matsue-silver.jp/job_list/ukeoi/65

また、託児施設利用の補助を予定しています。施設をご利用の方は takuji@jswe.or.jp にもご連絡ください。

6. 連絡・問合せ先

公益社団法人 日本水環境学会 シンポジウム係

東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel：03-3632-5351 Tel：03-3632-5352

E-mail：nenkai@jswe.or.jp

第 27 回市民セミナー

「豊かな里海の創生～沿岸域と河川流域の関係～」

〈本セミナーは、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて実施します〉

里海は人の手が加えられた沿岸環境で、日本では古くから水産・流通を基盤として多く地域社会や文化が形成されています。このような沿岸環境では高い生物生産性と生物多様性の維持が可能であると言われ、陸地という里山と同じく人と自然が共生する場所でもあります。健全な里海、つまり豊かで多様な生態系と自然環境を保全することで、私たちは多くの恵みを得ることができます。

健全な沿岸環境を保全するためには隣接する河川流域

の役割を適切に理解しておくことが重要です。里海の社会的重要性が認識されつつあり、学術、行政、産業界、市民において沿岸環境管理の取り組みが進められており、その結果として里海づくりに必要な科学的知見、環境保全の方法論、各地での取り組みの経験などが整理されつつあります。

このような背景を受けて本市民セミナーでは、“豊かな里海の創生”をテーマとして取り上げ、持続可能な里海づくりに関する基本的な考え方、最新の科学的知見、市民による取り組みなどをご紹介します。

本セミナーはテレビ会議システムにより、東京と大阪で同時に開催します。

主 催 (公社) 日本水環境学会

期 日 2018 年 8 月 3 日 (金) 10:50～16:30

場 所 東京会場：地球環境カレッジホール (いであ(株)内) (東京都世田谷区駒沢)

<http://www.gecollege.or.jp/gec/gec.htm#02>

大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール

(大阪市住之江区南港北)

http://www.ideacon.jp/contents/company/osaka_new.htm

プログラム

10:20～ 受付

10:50～ 開会挨拶

11:00～ 沿岸環境管理の考え方と里海づくりの現状 (仮題)

環境省 森里川海プロジェクトチーム

奥田直久 (東京会場)

12:00～ 昼休み

13:00～ 沿岸魚類から見た森里海のつながり

京都大学 フィールド科学教育研究センター

山下 洋 (大阪会場)

14:10～ 豊かな里海を創生するための流域管理の役割 (仮題)

横浜商科大学商学部 小松輝久 (東京会場)

15:20～ 柳川市内の掘割へのニホンウナギの復活に向けた取り組み～「NPO 法人 SPERA 森里海・時代を拓く」の足跡と理念～

福岡県立伝習館高校 木庭慎治 (大阪会場)

16:20～ 閉会挨拶

※講師の都合等で一部変更となる場合があります。

参 加 費 無料 (ただし、事前申込が必要です。先着順での登録となります)

定 員 250 名 (東京会場 150 名、大阪会場 100 名)

申込方法 Fax、E-mail またはハガキに①参加者氏名 (フリガナ) ②会員・非会員の別③会員の場合は会員番号④希望受講会場⑤連絡先 (所属団体名、住所、電話・Fax 番号および E-mail) をご記入の上、下記宛お申し込みください。参加証 (ハガキ) をお送りいたします。

申し込み・問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会 セミナー係 戸川
〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352
E-mail : togawa@jswe.or.jp

**第 1 回はじめての技術セミナー
～はじめての次世代シーケンサーを使った
活性汚泥の菌叢解析～**

次世代シーケンサー (NGS) の開発に伴って、活性汚泥中の微生物を網羅的に解析出来るようになりました。また、装置本体の価格も徐々に低下しており、身近に環境分析に利用されるようになってきています。一方で、活性汚泥中の微生物菌叢を解析する際には、サンプルの保管方法、遺伝子の抽出手順、抽出後 DNA の保管、ならびにデータ解析をする上での注意点など、たくさんのノウハウが必要となります。このトレーニングでは、参加者が各自 2 個まで持参したサンプルを使って、DNA 抽出・精製、NGS データ解析を実習していただきます。

講師を担当していただける寺田先生と堀先生は、次世代シーケンサー (NGS) を利用した汚泥の菌叢解析の第一人者であり、菌叢解析に関する著書も非常にわかりやすく、現在でも国内外の学会において活発に活動されています。

次世代シーケンサーについて詳しく知りたい学生、今後 NGS の導入を検討している企業、これから NGS による菌叢解析を実施したい研究機関にとって、絶好の機会です。皆さんのご参加をお待ちしております。

主 催 日本水環境学会

期 日 1 日目：2018 年 8 月 24 日 (金) 10:00～17:00,
2 日目：2018 年 9 月 26 日 (水) 10:00～17:00

場 所 1 日目：東京農工大学 小金井キャンパス
(東京都小金井市中町 2-24-16)
2 日目：産業技術総合研究所 つくば西
(茨城県つくば市小野川 16-1)

プログラム (両日参加できることが必須となります。)

1 日目：8 月 24 日 (金)

DNA 抽出→精製の実習

精製後の試料は、産総研で NGS 分析していただきます。実習終了後には懇親会を開催します。

2 日目：9 月 26 日 (水)

NGS 装置の見学→分析結果の受け取り→解析方法の学習

参加費 50,000 円 (正会員・学生会員)
100,000 円 (非会員)

参加者は各自 2 個まで、試料を持ち込めます。

参加申込締切 2018 年 7 月 31 日 (火)

参加申し込み方法 ①参加者氏名、②会員・非会員の別、
③会員の場合は会員番号、④連絡先 (所属団体名、住所

および電話番号、E-mail アドレス) をご記入の上、下記宛てに E-mail にてお申し込みください。また、参加費を 8 月 1 日までにお振り込みください。入金を確認後、参加証 (E-mail) をお送りいたします。なお、定員に達した場合は受付を終了させていただきます。

参加費振込先

三菱 UFJ 銀行 市ヶ谷支店
(普通) 0754950
シャ) ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

問い合わせ先

日本水環境学会戦略企画担当
山村寛 (中央大学理工学部)
〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27
Tel/Fax : 03-3817-7257
E-mail : senryakukikaku@jswe.or.jp

第 53 回水環境フォーラム山口

主 催 (公社) 日本水環境学会中国・四国支部

共 催 山口県環境保健センター

期 日 2018 年 9 月 1 日 (土)

場 所 山口大学工学部 D 講義棟 D21 講義室
(山口県宇部市常盤台 2 丁目 16-1)

プログラム

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～14:55 一般講演

廃棄物行政におけるドローンの活用事例

山口県廃棄物リサイクル対策課 上原 正義

ドローンを活用した藻場調査

山口県水産研究センター 内田 明

ほか 3 題

15:05～17:15 特別講演

アメリカ南東部における海草分布と回復手法

宇部工業高等専門学校 杉本 憲司

ほか 1 題

17:15～17:20 閉会挨拶

17:40～19:00 懇親会 (会費 2,000 円)

参加申し込み方法 講演会、懇親会のそれぞれについて、E-mail または Fax で下記へお申し込みください。

参加申込締切 2018 年 8 月 24 日 (金)

※当日参加も可能ですが、できるだけ事前申し込みをお願いします。

参加費 資料代として 500 円 (学生は無料)

※当日お支払いください。

詳細 URL <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~takaya/forum/>

問い合わせ先

樋口 隆哉 (山口大学大学院創成科学研究科)
〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2 丁目 16-1
Tel/Fax : 0836-85-9313
E-mail : takaya@yamaguchi-u.ac.jp

第13回人工湿地ワークショップ2018 in 郡山 (西会津・湖南) ～人工湿地の生活排水処理への適用に向けて～

第13回人工湿地ワークショップ2018 in 郡山(西会津・湖南)を下記のとおり開催します。このワークショップは汚水浄化のための人工湿地システムの研究と普及を進めるため、2006年より毎年北海道と東北で開催しているものです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

主催 日本水環境学会東北支部人工湿地研究会
共催 日本水環境学会北海道支部、日本大学工学部
後援 郡山市上下水道局
協力 Dana village
期日 2018年9月10日(月)～11日(火)
場所 日本大学工学部54号館5411教室
(<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/access/>)

スケジュール

9月10日(月) 13:00～16:00 現地見学会①
17:00～ 交流会
11日(火) 10:00～12:00 事例研究発表会(前半)
12:45～13:30 現地見学会②
13:30～17:00 事例研究発表会(後半)

申し込み

参加をご希望の方は8月31日(金)までに、また、事例研究発表希望の方は8月24日(金)までにE-mailにて下記項目を記載の上、申し込みください。

①参加者名 ②参加者の所属・役職 ③連絡先(E-mail, 電話番号・携帯番号) ④研究発表会、交流会(会費5,000円)、Dana village 宿泊(1泊朝食付3,000円)、現地見学会のそれぞれの出欠の有無 ⑤研究発表の有無、発表題目、発表者名 ⑥その他要望、連絡事項など事例研究発表を募集していますので奮ってお申し込みください。

参加費 一般 3,000円 学生 1,000円

申し込み先・問い合わせ先

東北工業大学 矢野 篤男

Tel/Fax: 022-305-3961

E-mail: yano-t@tohtech.ac.jp

*詳細につきましては、日本水環境学会東北支部HP(<http://jswetohoku.web.fc2.com/>)をご覧ください。

第22回日本水環境学会 ノンポイント汚染研究委員会 「ワークショップ in 岐阜・木曽川」

主催 日本水環境学会ノンポイント汚染研究委員会

期日 2018年8月19日(日)～21日(火)

場所 岐阜市、各務原市川島笠田町ほか

スケジュール

8月19日(日)
12:30 岐阜大学サテライトオフィス集合(JR 岐阜

駅前徒歩5分)

13:00～ ワークショップ(I) 一般公開シンポジウム(講師未定)

16:30～ バスで宿泊施設に移動(道中で長良川、木曽川見学)

18:30～ 夕食

19:30～ ワークショップ(II) 学生による研究発表とディスカッション

8月20日(月)

07:30～ 朝食

午前: フィールドワーク(I) 河川環境楽園、水環境調査①

午後: フィールドワーク(II) 木曽川ワンド再生現場、水環境調査②

ワークショップ(III) グループディスカッション(調査を踏まえての現状分析と討議)

17:30～ 夕食

19:30～ ワークショップ(IV) グループディスカッションの意見発表会

8月21日(火)

07:30～ 朝食

08:30～ フィールドワーク(III) 木曽三川・河口見学(木曽三川公園、長良川河口堰等)

13:00頃 弥富駅/近鉄弥富駅にて解散

*スケジュールは今後変更になる可能性があります。

参加費 社会人10,000円 学生6,000円(資料代・現地交通費等。懇親会費、食費は実費徴収。宿泊費別)

宿泊費 小牧勤労センター(8/19, 20): 社会人6,000円程度、学生4,000円程度(2日間、実費徴収、宿泊費のみ(食費別))

申し込み締め切り 2018年7月27日(金) 定員40名

申し込み先・問い合わせ先

山田俊郎(岐阜大学工学部社会基盤工学科)

Tel: 058-293-2429 E-mail: ymd@gifu-u.ac.jp

佐藤祐一(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

Tel: 077-526-4044 E-mail: sato-y@lberi.jp

ノンポイント汚染研究委員会ホームページ URL

<http://www.jswe-nonpoint.com>

微生物燃料電池セミナー2018 ～基礎からわかる微生物燃料電池～

主催 日本水環境学会 電気化学的技術研究委員会

期日 2018年8月31日(金) 13:00～17:00

場所 じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター) 2F 研修室(岐阜県岐阜市橋本町1-10-11)

プログラム(詳細は詳細 URL ご参照)

微生物燃料電池に関する講習

- 原理と現在の性能
- 装置の作成、運転方法 など

参加申し込み方法 Web サイトから申し込み

参加申込締切 2018 年 8 月 24 日 (金)

参加費 日本水環境学会員：1,000 円
(それ以外については詳細 URL をご参照ください)

詳細 URL <http://www.green.gifu-u.ac.jp/~ichihashi/MFCJ/MFCseminar2018.html>

問い合わせ先

岐阜大学 流域圏科学研究センター 廣岡佳弥子
〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1
Tel : 058-293-2078 Fax : 058-293-2079
E-mail : khirooka@gifu-u.ac.jp

第 24 回地下水・土壌汚染と その防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する国内最大規模の研究発表会として、地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表、意見交換、技術交流、情報収集、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年、150 件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々のご参加をいただいております。

このたび第 24 回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。今回は稼働を開始した中間貯蔵施設等(予定)の現地見学会を企画しておりますので、多くの皆様にご参加を頂きますようご案内申し上げます。

主 催 日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、地盤工学会、日本地下水学会、土壌環境センター

期 日 2018 年 10 月 30 日 (火) ~ 11 月 1 日 (木)

場 所 とうほう・みんなの文化センター
(〒960-8116 福島県福島市春日町 5-54)

内 容 (予定)

10 月 30 日 (火)、10 月 31 日 (水)

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、特別講演、企業展示他

10 月 30 日 (火) 懇親会

11 月 1 日 (木) 現地見学会

※内容は変更になることもありますので土壌環境センターの HP で確認ください。

参加申し込み方法

土壌環境センターのホームページ上で必要事項を入力してお申し込みください。(http://www.gepc.or.jp/)

事前参加申込締切 2018 年 9 月 21 日 (金)

参加費 一般：9,000 円 (11,000 円)、
学生：3,000 円 (4,000 円)
懇親会会費：6,000 円 (7,000 円) (予定)
※括弧内は当日受付の場合

詳細 URL <http://gepc.or.jp/kenkyu/24th/>

問い合わせ先

第 24 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する
研究集会事務局 担当：木下 (kinoshita@gepc.or.jp)
〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 KS ビル 3 階
(一社) 土壌環境センター内
Tel : 03-5215-5955 Fax : 03-5215-5954

IWA 関連行事

The IWA World Water Congress & Exhibition IWA 世界水会議 (IWA2018 TOKYO)

主 催 IWA (International Water Association)

期 日 2018 年 9 月 16 日 (日) ~ 21 日 (金)

場 所 東京ビッグサイト (東京)

日 程 (予定)

- ・開会式, ウェルカムレセプション (9 月 16 日)
- ・講演, 展示会, ビジネスフォーラム (9 月 17 日 ~ 20 日)
- ・閉会式, ガラ・イブニング (9 月 20 日)
- ・テクニカルツアー (9 月 21 日)

参加費 (ユーロ)

支払日	一般		学生
	IWA 会員	非会員	
登壇者 (7 月 1 日以前)	895	1095	445
6 月 30 日以前	995	1195	495
9 月 9 日以前	1095	1295	545
9 月 10 以降, 現地	1245	1445	645

詳細 URL <http://worldwatercongress.org/>

他学会関連行事

京都大学工学部衛生工学科創立 60 周年記念： 第 40 回京都大学環境衛生工学研究会 シンポジウムのご案内

主 催 京都大学環境衛生工学研究会ほか

期 日 2018 年 7 月 27 日 (金) ~ 7 月 28 日 (土)

場 所 京都大学百周年時計台記念館
国際交流ホール I・II・III

プログラム

- 1) 一般講演：環境衛生工学に関する口頭・ポスター発表
- 2) 京都大学工学部衛生工学科創立 60 周年記念セッション：
未来に向けた環境工学の挑戦
北海道大学 松藤敏彦 教授
東京大学 古米弘明 教授
京都大学 高野裕久 教授
- 3) 京都大学工学部衛生工学科創立 60 周年記念祝賀会
詳細は、以下詳細 URL をご参照ください。

詳細 URL <http://www.env.kyoto-u.ac.jp/kyoeiken/>

問い合わせ先

京都大学環境衛生工学研究会 大下和徹
〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C クラスター
Tel: 075-383-3336 Fax: 075-383-3338
E-mail: kyoueiken@env.kyoto-u.ac.jp

瀬戸内海研究フォーラム in 兵庫 「測る, 創る, 学ぶ, 瀬戸内海の今」

主 催 瀬戸内海研究会議／神戸大学内海域環境教育研究センター

協 賛 (公社) 瀬戸内海環境保全協会

共 催 瀬戸内海環境保全知事・市長会議

後 援 兵庫県／神戸市

期 日 2018年8月30日(木)～8月31日(金)

場 所 神戸大学百年記念館(神戸市灘区六甲台町1-1)

プログラム 以下のサイトをご参照ください。

http://www.seto.or.jp/kenkyu/upload/forum/h30_forum_flyer.pdf

参加費 無料

詳細 URL <http://www.seto.or.jp/kenkyu/forum/hyogo>

問い合わせ先

瀬戸内海研究会議事務局(担当: 富家)
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
Tel: 078-241-7720 Fax: 078-241-7730
E-mail: web@seto.or.jp

第32回日本吸着学会研究発表会

主 催 日本吸着学会

協 賛 日本水環境学会ほか

期 日 2018年11月8日(木)～9日(金)

場 所 大阪大学 豊中キャンパス
(〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町)

プログラム 詳細 URL をご参照ください。

申し込み方法 学会 HP よりお申し込みください。

参加申込締切 (事前予約締切) 2018年9月28日

参加費 詳細 URL をご参照ください。

詳細 URL http://www.j-ad.org/annual_meeting/

問い合わせ先

日本吸着学会実行委員会 上田 貴洋
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13
Tel: 06-6850-5778 Fax: 06-6850-6720
E-mail: adsorption32@gmail.com

おしらせ

「水環境国際活動賞(いであ活動賞)」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優れた国際的な活動として選定されたものを「水環境国際活動賞(いであ活動賞)」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成致します。助成の対象者を下記のとおり募集致します。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐(ご寄付)により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成内容 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外の話題を対象としたシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会の開催等。

助成金額 30万円(上限)

助成期間 2019年4月1日～2020年3月31日
(活動期間が2020年度にわたっても可)

助成対象件数 1件

応募方法 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送(簡易書留)又はE-mail(kubota@jswe.or.jp)で提出してください。応募受付の連絡が3日以内でない場合は学会事務局にご連絡願います。

提出書類(書式は自由)

- ・応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、TEL、FAX、E-mail、所属、略歴、研究業績(主な発表論文リストや国際的な活動実績)(A4、1ページ程度)
- ・活動の内容を示す計画書(目的、計画、期待される成果を含めA4、2ページ程度)
- ・必要経費の概算書(活動全体にかかる経費(自己資金を含む)と本会からの助成希望金額を明記してください)

提出期限 2019年1月15日(火)必着

提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号

(公社) 日本水環境学会水環境国際賞選考委員会
(簡易書留で封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書きしてください)

E-mail(kubota@jswe.or.jp)での提出も可(件名に「水環境国際活動賞」と記載してください)

合否通知 選考結果については、2019年2月までに応募者に通知致します。

その他 受賞者には活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

2018 年 3 月号特集「水環境分野で働く若手たち」 別刷配布のお知らせ

水環境分野の次世代育成の観点から、第 52 回年會に参加した学生会員に 2018 年 3 月号特集「水環境分野で働く若手たち」の別刷を配布しました。本企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、希望する会員へ別刷を無償配布することといたしました。

別刷をご希望の方は、会員番号、所属、氏名、使用目的（具体的に）、希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール（kikaku@jswe.or.jp）にて申込ください。配布可能部数は約 430 部で先着順に受け付けます。なお、部数が限られていますので、教育目的以外でのご利用はお差し控えください。なお、「水環境分野で働く女性たち」（2013 年 10 月号特集の別刷）にも残部（約 90 部）がありますので、ご希望があればご連絡ください。

北海学園大学工学部専任教員の公募

募集人員 准教授または講師、1 名

所 属 北海学園大学工学部社会環境工学科

専門分野 環境工学または環境工学関連分野

応募資格

(1) 博士（または Ph.D）の学位取得者または、着任時までに取得見込みの方。

(2) 大学の教育・研究および大学運営に対して情熱があり、専門分野の情報発信のできる方。

それ以外は以下詳細 URL をご参照ください。

採用予定日 2019 年 4 月 1 日（月）

応募方法 郵送（履歴書、教育歴、研究業績などの書類）

応募期限 2018 年 8 月 7 日（火）必着

詳細 URL <http://eng.hgu.jp/teacher02.html>

問い合わせ先 北海学園大学工学部社会環境工学科
学科主任 余湖典昭

〒064-0926 札幌市中央区南 26 条西 11 丁目

Tel：011-841-1161（内線 7728）

Fax：011-551-2951（工学部事務局）

E-mail：yogo@cvt.hokkai-s-u.ac.jp

富山県立大学工学部教員の公募

募集人員 講師または准教授、各 1 名

所 属 工学部 環境・社会基盤工学科 環境工学講座

専門分野 環境リスク工学および環境水質工学分野

応募資格・応募方法 詳細 URL をご参照ください。

採用予定日 2019 年 4 月 1 日

応募期限 2018 年 8 月 17 日（金）必着

詳細 URL http://www.pu-toyama.ac.jp/news/news_outline/2018/05/23/20252/

問い合わせ先

富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科

主任教授 渡辺幸一

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

Tel：0766-56-7500（内線 713）

Fax：0766-56-0396（学科事務局）

E-mail：nabe@pu-toyama.ac.jp

第 10 回（2018 年度）とうきゅう環境財団 社会貢献学術賞受賞候補者推薦について

候補者対象

日本の環境分野において学術的、社会的に特に顕著な業績を挙げた研究者（個人・共同・団体、外国籍で国内で研究されている方、ただし企業は除きます）。

社会貢献学術賞

本賞 1 件：賞状および賞金 100 万円

応募方法 詳細は以下 URL をご参照ください。

応募期限 2018 年 8 月 31 日（金）必着

問い合わせ先

（公財）とうきゅう環境財団

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-16-14

渋谷地下鉄ビル 5F

Tel：03-3400-9142 Fax：03-3400-9141

URL：<http://www.tokyuenvironment.or.jp/>

りそなアジア・オセアニア財団

平成 31 年度環境事業

環境プロジェクト助成募集

助成の趣旨 アジア・オセアニア諸国における水や緑をテーマにした自然環境の保護・整備などのプロジェクトや、それらの活動を行う人々に対する支援を行う。

助成対象 アジア・オセアニア諸国や地域における豊かな緑ときれいな水を守る事業。当該地域ですでに萌芽的な活動が行われ、応募者がすでに何らかの形で活動に関与している事業。

助成金額 1 人あたり 50 万円～100 万円

応募の方法 財団所定の「申込書」に記入の上、書留にて送付。

募集期間 8 月 31 日（金）必着

応募書類提出先・問い合わせ先

（公財）りそなアジア・オセアニア財団

〒541-0051 大阪市中央区備後町 2-1-1

第 2 野村ビル 5F

Tel：06-6203-9481 Fax：06-6203-9666

E-mail：info@resona-ao.or.jp

詳細 URL：<http://www.resona-ao.or.jp/>

平成 30 年度持続可能な社会づくり活動 表彰募集について

- 表彰対象** 持続可能な社会づくりに顕著な功績のあった
日本国内に主たる事務所を有する企業・団体
- 表彰内容** 環境大臣賞，環境生活文化機構会長賞，環境
生活文化機構理事長賞
- 決定期間** 平成 30 年 10 月までにホームページで受賞者
を公表します。
- 応募方法** 募集要項をご覧の上，所定の推薦書に必要事
項をご記入の上，必要書類を添付し，下記へ
ご郵送ください。
- 応募締切** 2018 年 8 月 31 日（金）必着
- 詳細 URL** <http://www.elco.or.jp/introduction/commentation.html>

問い合わせ先

公益社団法人 環境生活文化機構 事務局
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-20-10
サンライズ山西ビル 6F
Tel：03-5511-7331 Fax：03-5511-7336
E-mail：elco.inc@trust.ocn.ne.jp

東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成 候補者推薦について

1. 東レ科学技術賞

対象 本会に関する分野で，学術上の業績が顕著な方，
学術上重要な発見をした方，効果が大きい重要な
発明をした方，技術上重要な問題を解決して，技
術の進歩に大きく貢献した方。2 件。

賞 1 件につき金メダルおよび副賞賞金 500 万円。

2. 東レ科学技術研究助成

対象 本会に関する分野で，国内の研究機関において，
自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており，
かつ今後の研究成果が科学技術の進歩，発展に貢
献するところが大きいと考えられる若手研究者（原
則として推薦時 45 歳以下）。

助成金額 総額 1 億 3 千万円。

1 件 3 千万円程度まで，計 10 件程度。

* 詳細は HP (<http://www.toray-sf.or.jp/>) をご覧ください。

推薦方法 学会推薦を要します。応募を希望される方は
本会事務局にお問い合わせください。本会へ
の申請書類の提出期限は 9 月 7 日（金）とい
たします。

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は，国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム（J-STAGE）」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>